

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 28 年度第 7 回（10 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 28 年 10 月 13 日（水） 午後 7 時 00 分～8 時 50 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 竹浦、吉本、高田、田畑、井戸田、酒井、清水、出野、山田、山西、杉山、増田、久保田、上田、梶、井口、岡本、安保、荒木監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 柴監事
- ◇ 議 長： 竹浦

【 討議内容 】

I. 行動報告（9 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

1) 平成 28 年度第 4 回理事会報告（平成 28 年 9 月 17 日（土）開催）

- ①平成 28 年度「都道府県技師会精度管理調査」の申請を千葉県、佐賀県、新潟県より受け、承認した。
- ②第 32 回世界医学検査学会は、日本を含む 34 ヲ国から 1,200 名前後の技師参加があり、さらに国内の学生・教員約 900 名を含めれば 2,000 名を超える参加を得た。
- ③第 65 回日本医学検査学会は会員 3,732 名、賛助会員 457 名、関連団体 60 名、その他 213 名の有料参加者合計 4,462 名及び多数の学生参加者を得た。
- ④検体採取講習会の更なる受講促進のために施設別の修了者数データの集計ソフトの開発を進めている。
- ⑤診療情報管理士通信教育制度において、一般社団法人日本病院会、日本診療情報管理学会に「専門課程への編入資格」に臨床検査技師を加える要望を提出した。
- ⑥みずほファクターと「決済ナビ EC サイト」申込みの手続きを行うことを認めた。
 - ・新入会会費、学会参加費、研修会、講習会参加費、認定試験料等の入金処理をクレジット決済で行い、迅速な手続きが可能となる。
 - ・コンビニ支払いの運用は引き続き継続する。現在の運用より 2～3 営業日早く処理が可能となる。運用開始は、平成 29 年 1 月からとする。
- ⑦平成 28 年 8 月度会員数実績は、全国 59,142 人、近畿 7,747 人
- ⑧第 66 回日本医学検査学会の参加費について、コンプライアンスを順守するためには学会総収入の 51%以上を参加費収入で賄う必要がある。また、学会会場使用料が高い事も勘案し、当日参加費 10,000 円、事前登録参加費 9,000 円とした。
- ⑨e-ラーニング運用に当たり、役務提供契約書を株式会社 CGI と締結する事とした。内容は卒業後 5 年までに臨床検査全般的に習得すべき内容を網羅する。利用条件は日臨技会員とし、本格運用の開始予定は平成 29 年 3 月～4 月を見込んでいる。契約料金は年額 940 万円。

〈総務部〉9月21日（水）に部会を開催した。

- ・「法人設立30周年・技師会創立65周年」記念事業について報告した。
- ・大臨技ホームページの更新について検討した。
- ・大臨技医学検査学会への対応について検討した。
- ・年輪発行について協議した。
- ・大臨技ニュース原稿編集者担当制導入について協議した。
- ・大臨技ニュース9月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを随時更新した。

〈会計部〉9月21日（水）に部会を開催した。

- ・8月度収支計算書を作成した。
- ・9月分事務員給与を送金した。
- ・各部門に中期決算報告書（9/30締め）の提出を依頼した。

〈渉外部〉10月4日（火）台風のため日程変更

- ・平成28年度第1回献血推進活動（通算46回）の報告を行った。
平成28年8月20日（土）10:00～16:30、京橋駅前広場
受付数：83名、採血数：65名（400ml献血：63名、200ml献血：2名）
- ・大臨技・大放技合同フォーラムについて説明を行った。
- ・府民健康フォーラムについて説明を行った。
- ・HIV予防啓発講演会について説明を行った。
- ・平成28年度がん予防フォーラムの会場について説明を行った。
- ・全国検査と健康展について討議を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉9月16日（金）に部会を開催した。

- ・「法人設立30周年、技師会創立65周年」記念事業の役割分担について確認した。
- ・技師長会のメインテーマについて討議を行った。

〈地区事業部〉9月15日（木）に部会を開催した。

- ・検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会で使用するネームプレートを作成し、役割分担を決めた。
- ・会員交流会について
日時：平成28年10月22日（土）14時～17時
講演会 14:15～14:45、BBQ 14:45～17:00
場所：レンタルスペースささ華林（肥後橋）
会費：2,500円（予定）

〈学術部〉部会開催なし

- ・9月13日に遺伝子検査部門の発足会議を開催し、今年度の事業について検討した。

III. 報告事項

1. 大臨技医学検査学会運営委員会について（井戸田常務理事）

- ・理事会に先立ち、浅田実行委員長より進捗状況の報告があり、問題点、確認事項および今後の作業等について討議した。

- ・ A3 ポスターのデザインを決定した。チラシは作成しない。
- ・ 10月12日に賛助会員72社へ趣意書を発送した。
- ・ 会員からの質問について
 - ① 発表者の年齢制限はあるのか？ ⇒ 年齢制限は設けないが、予定数を超過して応募があった場合は、若手優先とする。
 - ② 賛助会員より、「参加者の男女比を教えて欲しい」 ⇒ 「初めての開催の為、予測できない」と回答する。
- 2. 「法人設立30周年・技師会創立65周年」記念事業報告について（酒井常務理事）
 - ・ 平成28年9月17日（土）に開催した「法人設立30周年・技師会創立65周年」記念事業の報告および指摘事項の報告があった。
 - ・ 参加者数は192名であった。祝辞の順番、感謝状の授与方法について指摘があった。
- 3. 大臨技ホームページの変更について（山田理事）
 - ・ ホームページ上に、「大臨技医学検査学会」のメニューを作成した。
 - ・ メニューボタンを目立たせるよう検討中である。
- 4. 「地域ニューリーダー育成研修会」受講者の推薦について（竹浦会長）
 - ・ 日臨技より「地域ニューリーダー育成研修会」受講者の推薦依頼があり、理事の安保浩二氏を推薦した。
- 5. 全国検査と健康展について（清水理事）
 - ・ 「MBS ラジオ 秋まつり 2016」の出展ブースにおいて開催する。
 - ・ 日時：11月3日（木・祝）10：00～16：30、会場：長居公園 自由広場
 - ・ 実施概要等について説明があった。
- 6. その他
 - 1) アフラックがん保険（団体保険）について、20名以上で団体割引適用のところ現在の加入者が19名となったため、加入依頼があった。
 - 2) 日臨技が生涯学習制度見直しの一環として、月額有料制で「e-ラーニングシステム」を平成29年4月より導入することを決めた。大臨技においても研修会を年間100回程度開催しているのこともあり今後の導入を検討する。

IV. 議 題

1. 「年輪」の発行について（酒井常務理事）
 - ・ 平成29年3月1日発刊予定の「年輪VI」の内容および編集スケジュールについて討議した。
 - ・ 新たに掲載する特集内容について各部で検討することとした。
2. 大臨技会計について（竹浦会長、杉山理事）
 - ・ 大臨技行事における参加費の取り扱いを含め、今後、公益社団法人の会計業務の重要性を認識し、予算・決算を厳しく審議することとした。
3. 後援申請および共催申請について（井戸田常務理事）
 - ・ サクラファインテックジャパン株式会社より、「第14回病理・細胞セミナー」の後援依頼があり、承認された。
 - ・ 「微生物検査部門定期講習会」について、ベックマン・コールター株式会社との共催申請があり、承認された。

4. 事業申請について（上田理事）

- ・「平成 28 年度近畿チーム医療実践セミナー」の事業申請があり、企画および予算について承認された。

5. 日本臨床検査同学院からの依頼について（吉本副会長）

- ・「平成 28 年・第 32 回緒方富雄賞贈呈式」案内の広報依頼があり、大臨技ホームページに掲載することとした。
- ・「平成 29 年（第 104 回）二級臨床検査士資格認定試験」案内、「平成 29 年（第 39 回）緊急臨床検査士資格認定試験」案内、「平成 29 年（第 11 回初級・第 6 回一級）遺伝子分析科学認定士認定試験」案内を、大臨技ニュース 12 月号および大臨技ホームページに掲載することとした。

6. その他

なし

以上